

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和04年03月15日

事業所名 放課後等デイサービス ぼちぼち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	5	4	施設が貸借物件で手狭なため、外部の施設利用等を適宜図って対応している。	引き続き、外部施設（図書館・体育館等）を活用した支援活動を取り入れ対応していく。
	2	職員の配置数は適切である	9	3	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	8	フロアマットの張替え等を実施。	限られた施設条件（貸借物件・老朽化）の中でも、フロアマット、安全のための備品の導入・補修を計画的に行う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	5	0	職員会議、月2回のケース会議で、運営や環境、支援の改善を話し合っている。	毎日のミーティングでも改善課題や実施対策について共有し、全員が参画を意識できる取り組みを継続する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	1	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	4	0	自己評価結果は職員会議と保護者会で情報提供している。	会報には紙面の限界もあるため、開設したホームページで公開できるようにしていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	4	1	他事業所による相互監査を、第三者による点検と改善のしくみとして運用している。	相互監査の指摘事項と改善対策の検討・共有を職員会議で行っていき取り組みを継続する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	1	0		
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	8	0	標準化したアセスメントツールで、児発管が中心になって作成、運用している。	職員全員が運用しているアセスメントツールを目にする機会が少ないため、認識が低かった。ケース会議当での共有化を強めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3	0	土曜日・長期休暇中の計画は職員会議で検討。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	3	0	土曜日・長期休暇中は地域施設利用や地域行事もとり入れた計画にしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	1	0	土曜日・長期休暇中は地域施設利用や地域行事も入れて支援計画を作っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	0	毎日支援開始前にミーティングを実施し、その日の支援内容、役割分担等を確認している。	